

平成24年度離島対策事業協力評価報告書

<平成25年7月26日実施>

第三者委員会

No.7	都道府県名:東京都	市町村等名:小笠原村				
対象地域:小笠原諸島地域(父島、母島)	世帯数 [※] :1,344	人口 [※] :2,785				
事業実施期間:平成24年2月1日～平成25年1月31日	海上輸送を行う者:小笠原村から補助を受けた第三者					
1回当たりの輸送平均台数:219台(パレット積み)	年間の輸送回数:4回					
海上輸送の方法:特定家庭用機器廃棄物を積載したパレットを船舶に積み込み輸送する。						
輸送事業の方法:補助事業			引渡実績集計の方法:離島集計方式			
<p>(総輸送距離: 1,043.2km、総輸送時間: 47 hr)</p> <p>輸送距離: 中間集積所→搬出港(1.5km) 搬出港→受入港(約1,000km) 受入港→指定引取場所(41.7km) 輸送時間: 中間集積所→搬出港(0.5hr) 搬出港→受入港(約45hr) 受入港→指定引取場所(1.5hr)</p>						
	エアコン	ブラウン管式テレビ	液晶式及びプラズマ式テレビ	冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機	合計
事業実施期間中の輸送量(台)	224	258	30	155	212	879
交付した助成金額(円)	412,160	199,050	41,470	356,190	254,400	1,263,270

※ : 世帯数及び人口は、平成22年国勢調査値

参考 : 事業協力実施年度 平成21、22、23、24、25年度

I. 輸送の効率化(少頻度多量輸送)の評価

年間輸送回数4回、1回あたり219台輸送しており、覚書に記載された少頻度多量輸送を実施していると認められる。

II. その他 市町村の責務の遂行状況の評価

- ① 排出者の負担は助成単価と同額分軽減されていると認められる。
- ② 対象地域からの排出量の全てが、覚書に記載された輸送事業の対象になっていると認められる。
- ③ 小笠原村の責務(I. 及びII. ①、②の責務を除く。)は適切に遂行されていると認められる。

III. 成果及び今後の課題等

実績報告書によると、海上輸送費の排出者負担が軽減されたことや村内パトロール強化により、不法投棄台数を2台に抑えたとのことである。